
今日の力

2017年1月16日～1月22日

翻訳 井上輝彦

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

1月16日(月)

イエスの正体

聖書朗読 ヨハネ 1:14～18

ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。

ヨハネ 1:14

ヨハネ福音書第1章の1～13節には、宇宙を思わせる「ことば」が出てきます。すなわちこれは、創造主や神様と共に表現しています。そして14節では聖書全体で最も驚かされるものの一つである神聖な「ことば」について、神のひとり子と言ひ、そのお方が私たちのような人となりしばらくの間一緒に住まわれたとあります。14節は、ギリシャ語で「住む」とは、「テント住まい」や「幕屋住まい」と言います。すなわち神のひとり子は私たちと仮住まいをされたのです。

ひとり子が私たちとの仮住まいの間、その子は彼の父、唯一の神様がどんなお方なのかを私たちに話し、そして自ら示されました。その子は後に弟子たちに『わたしを見た者は、父をみたのです。』（ヨハネ14:9）と言いました。神の子である私たちへ、神様が示された愛と関心に勝るものがあるのでしょうか。神様の本性をこれほど完全な形で示しているものがあるのでしょうか。神様の子が来臨され私たちと住まわれて、私たちに必要だったもの、いや今も必要なものを分かち合われたのです。それは恵みと真実です。神様を讃えましょう。

聖歌 117

祈り 宇宙の創造主の神様。あなたの創造をあなたの御子であるキリストを通して私たちに明かされました。またキリストを通してあなたの恵みを受け取り、キリストを通して真実を知りました。ここに私たちはあなたを賛美します。

イエス様の御名前により。アーメン。

ポール・L・ワトソン

ノースカロライナ州 ダラム

1月17日 (火)

神の豊かな祝福

聖書朗読 ヨハネ 1:16~18

私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けたのである。
ヨハネ 1:16

肩書のある人の言葉は影響力が大きいものです。しかしそれらの言葉は私の創意工夫ではなく、22人のまたいとこの一人であるローガンがザンビアへの伝道旅行中に語られたものです。彼は現地に於ける言葉の障害にも拘らず、彼が主からいかに祝福されているかを書き広めました。話す言葉が違う人々に会っている間、いつも彼は神様の愛の種を植えつけるに十分な意思伝達が出来ていると心の中で感じていました。

伝道旅行を振り返ってローガンが熱心に言った事は、彼が神様の豊かな祝福を受けていたという事でした。

私自身もそのことを考え始めました。私が単に神様の存在を知るのではなく神様の事について深く知る程、自分が神様の愛に浴することが出来るのです。

神様を知るという事は命であり、自由であり、力です。私たちはこれらが意味するところをすべて数えてみませんか。

いつかわたしの命が尽きる。

あなたが気まぐれな反省をする前に

このことを一番よく知っている彼女(私の人生)に最も簡潔な道を告げてもらおう。

そして言おう「ここに人一倍、祝福された人が眠る」

言おう「彼女(私の人生)はそれが幸せであることを知っていた」と。

————— ジャン・ストルーザー

聖歌 604

祈り 主よ。日々私が受けている多くの恵みに対する認識と感謝が出来る様助けて下さい。私が神様の溢れる愛の内にある事を理解させてください。
イエス様の御名により。アーメン。

ユージナ・カイザー

バージニア州 アーリントン

1月18日 (水)

真のアイデンティティー

聖書朗読 ヨハネ 1:19~28

あの方が盛んになり私は衰えなければなりません。
ヨハネ 3:30

バプテスマのヨハネは神様の大きな計画の中で彼の役割を理解し受け入れました。その役割とはメシアの登場を証言する事でした。しかし彼はキリストと違いアイデンティティーがありません。福音書の著者が書いているのは、ヨハネが役人に対して彼は誰それですと言う代わりに、彼は誰それでは無いと言っています。

彼はメシアでもなく、エリアでもなく、預言者でもないと言っています。そしてパリサイ人の役人に答えているのは彼自身の声ではなく、イザヤの声(23節)とも言っています。自分の事をキリストのくつのひもを解く値うちもありませんと。

実は、ヨハネのアイデンティティーは彼自身の中であるのではなく神様の大きい目的の中にあるのです。

教会での他人の奉仕や説教に対して、私たちがその業績を賞賛しないと言う事は、私たちの品性や文化に反するものです。大勢の中に埋もれず、特別である事を私たちは望んでいるのです。私たちは自分達の名を残すように時間を割いています。私たちは個人の自己(個性)を確立する様一生懸命になります。しかし聖書は自己の確立に関して全く違った見方をしています。それは自己というものをキリストの中と信仰の輪の中で確立することです。私たちが教会の中でそっと目立たず奉仕をする時、私たちの自己は確立され神様が栄光を見るのです。

讃美歌 461

祈り 主よ。私たちがへりくだり、あなたの中やあなたの教会の中で自己を見つける事が出来るよう、力を貸してください。

イエス様の御名前によりお祈りします。アーメン。

デイブ・ブランド

テネシー州 メンフィス

1月19日 (木)

結婚式に招待されたイエス

聖書朗読 ヨハネ 2:1~11

結婚がすべての人に尊ばれるようにしなさい。

ヘブル 13:4

私は、あるカップルがその友達を一風変わったところで行う結婚式に招待したのをテレビで見ました。式の間、結婚が神聖な事や神様という言葉が聞かれました。と言ふ事はイエスが結婚式に招かれていなかったと言ふ事になり、何と悲しい事でしょう。

今日の聖書朗読では、イエスが結婚式に招かれ、その臨席により栄光を現わすと言ふ話です。大部分の人たちは結婚する時、次のように誓いを立てるものです。

「病気の時も、健康な時も、順調な時も、逆境の時も、互いに愛しあい慈しみ、生涯一緒にいる事を誓います」。そしてこの誓いを確実にするために神様と臨席者の御前にて指輪を交換します。そこで思い出されるのは、キリストが教会を愛し、教会の為に捧げた(エペソ5:22, 23)のと同じように、私たちがどのようにして互いに愛し尊敬しあうかと言ふ事です。そして結婚は神様御自身によって導かれていると言ふ事を学びました。イエスの存在が私たちの結婚の一部となってほしいものです。子供達にもイエスがいつもいらっしゃるキリスト者の家を持ってほしいものです。

讃美歌 429

祈り 主よ。あなた自身がお造りになり、祝福された結婚の美しさに感謝します。あなたが私たちの生活の一部となることを望んでいらっしゃる事を理解させてください。またあなたの御子のご臨在により、私たちの生活を祝福して下さることに感謝します。

イエス様の御名前により。アーメン。

H・グレン・ボイド

アーカンソー州 サーシー

1月20日 (金)

不 具

聖書朗読 ヨハネ 5:1~6

犬が自分の吐いた物に帰ってくるように、愚かな者は自分の愚かさをくり返す。

箴言 26:11

イエスは逆行されたのでしょうか。最初に罪人を癒し、その後その罪の故不具になった罪人をも赦されました。人を助ける時、ほとんどの人はその人が自分で何とかしようとする意志がないか、あるいは助けても無駄なように見えてしまい、助ける事を諦めます。恐らくそれには理由があつて、以前に困難に会っている人に救いの手を差し伸べたけれど、後に以前の悪習慣や行動に戻って再び困難を抱えると言ふ経験をしたからでしょう。

私たちはみんな、自分自ら不具になる要素を持っています。それらは常習中毒や間違つた選択や同じ行動の繰り返しから来たりします。そしておそらく落ち着く先は、自己を憐れんだり、言い訳をしたりして、どうする事も出来なくなってしまう。おそらく私たちは自責の念により、イエスからの恵みや赦しを必要とする病人なのです。悪くすれば私たちは他人を非難し悔い改めることの無い罪人になり、自分の人生を変える必要を感じなくなります。

イエスは確かに男を癒しました。しかし後で強い警告をしています。罪を再び犯せば以前よりも問題は深刻になると。赦しは大きな損傷をも癒します。

誰でもイエスの赦しにあずかる事が出来る一方、罪を何度も繰り返しているとその罪を律する事が出来なくなります。奇跡が必要になるでしょう。

讃美歌 398

祈り 親愛なる主よ。私たちが必要とする赦しと恵みを理解していただき感謝します。また自らの愚かさや私たちを罪から救い上げ、高い呼びかけをしていただいていることに感謝します。

イエス様の御名を通して。アーメン。

マイラ・セトリフ・ブース・リース

テキサス州 ラボック

1月21日 (土)

豊かな生活

聖書朗読 ヨハネ 5：16～23

わたしが来たのは、羊飼いがいのちを得、またそれを豊に持つためです。

ヨハネ 10：10

私が説教をした最も悲しいものは若いクリスチャン女性の葬儀です。妻と共に時々彼女のお墓に今も行き、そこで彼女の無駄になった生活の悲惨さを考えます。イエスは私たちに豊かな意味のある命を与えるために来ました。

ヨハネは第5章で、いのちについて述べています。21節では、『父はいのちを与え、子も与えたいと思う人にいのちを与えます。』と述べています。いのちは大いなる贈りものです。

キリストに於いては私たちは霊的な復活を経験します。私たちは死から生へと移っていきます。イエスが与えた命は永遠の命です (24, 25 節)。永遠のいのちを持つことは偉大な恵みです。

ヨハネ福音書で述べられている永遠の命と言う言葉は、実際の長寿命と言う事ではなく質について述べています。私たちの新しい命は恵みで満ちています。

山上の説教でも、幸いなりと言う言葉で始まっています。キリストの内にある新しい命は豊かであり、私たちが望んだり考えたりする以上のものです。キリストの中であって神様と共に歩む、これは天国の前兆です。神様の霊は私たちの中に住まわれ、愛、喜び、平安、寛容、親切、誠実、柔和そして自制心を育むのです (ガラテヤ 5：22～23)。このような生活は楽しいものです。

讃美歌 第二編 56

祈り 天のお父様。私たちの永遠の死から救うためにあなたの御子をこの世に送ってくださり、私たちに赦しと目的と意味のある命を与えてくださった事に感謝します。

イエス様の名前により。アーメン。

リチャード・アディー
オレゴン州グ レッシャム

1月22日 (日)

キリストに対する信頼できる目撃者

聖書朗読 ヨハネ 5：41～47

もしあなたがたがモーセを信じているのなら、わたしを信じたはずです。モーセが書いたのはわたしのことだからです。 ヨハネ 5：46

裁判では検察と弁護側両者が彼らの代わりに証人を仕立てます。証言する前には弁護士による証言者の真実を確立するため、あるいは信ぴょう性を損なう目的での尋問を受けます。判事や陪審員はある基準によって証言の信ぴょう性を判断します。

イエスが民衆の中を歩いている時、その教え、性質やしるしは神性を表わしていました。しかし宗教指導者は余りにも多くの規則に縛られイエスの証言を信用せず長い間実践してきた実態のない慣習にとらわれていました。さらに彼らはイエスが安息日に人を癒した事を聖日に「働いている」と言ったのです。

宗教指導者たちの理解は、慣習や支配へのこだわりや自分自身の可愛さの故、乱れていきました。そこでイエスは彼の代わりに御自分の事について述べている聖書やモーセを証言者としてお立てになりました。これらの証言者は宗教指導者たちが崇めている人達ですが、彼らや自分たち自身で目撃したイエスの力の証拠を否定したのです。

そして同じ目撃者が私たちに証言しています。彼らは信頼できます。証言や信じる事や理解から来る信仰のために神様を讃えなさい。イエスは救い主です。

讃美歌 第二編 177

祈り 天のお父様。あなたの絶え間ない数知れない贈り物、特にあなたの御子イエス・キリストの素晴らしさに感謝します。

イエス様の御名により。アーメン。

トラヴィス・アレン
コロラド州 センテニアル